

NGSワークフローの新たなアプローチ ～超微量分注でなぜライブラリ調製・等モルプーリング・ ノーマライズが効率化できるのか?～

日時 2026年 8月 27日 [木] 13:30～13:45

演者 小野寺 純 ベックマン・コールター株式会社 ライフサイエンス マーケティング本部
ジェノミクスプロダクトマネジャー

NGS解析では、ライブラリ調製やライブラリ定量、濃度均一化（ノーマライズ）、等モルプーリングといった工程に、
多くの試薬や分注チップコスト、作業時間が費やされています。

本セミナーでは、25 nLの高精度分注機能を搭載した「Echo 525」を活用することで、NGSライブラリ調製の**超微量化**だけでなく、ライブラリの**ノーマライズおよび等モルプーリング**を**シンプルかつ高速、高い再現性**で実施できます。

実際のアプリケーション事例をもとに、

- 等モルプーリング工程の省力化
- NGSライブラリ調製における試薬コスト削減
- qPCRによるライブラリ定量の超微量化
- 分注チップ使用量削減によるランニングコスト低減

についてご紹介します。NGSワークフローの効率化やコスト削減をご検討中の研究者・技術者の皆様におすすめの内容です。

視聴登録はこちら

<https://becls.co/45xS5kE>



Beckman CoulterおよびBeckman Coulterロゴは、Beckman Coulter, Inc.の登録商標です。